

目 次

第1章 基本構想策定に向けて	1
1 鎌倉市を取り巻く現況	1
(1) 鎌倉市の歴史的遺産の特徴	1
(2) 豊かな自然環境	1
(3) 鎌倉市における歴史的遺産・自然環境の保護	2
(4) 「歴史的遺産と共生するまちづくり」の取組	2
ア 「鎌倉市歴史的風致維持向上計画」の推進	2
イ 日本遺産「いざ鎌倉～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～」の認定	3
ウ 鎌倉歴史文化交流館の整備	3
エ 国指定史跡永福寺跡の整備・公開	3
2 これまでの博物館計画と既存施設	4
3 本構想策定の必要性和目的	4
第2章 基本的な考え方	5
1 「鎌倉市にふさわしい博物館」の基本理念	5
2 「鎌倉市にふさわしい博物館」の使命	5
(1) 歴史的遺産を活用した博物館活動	5
(2) 文化財の適切な保存管理機能の充実	5
(3) 「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進	5
3 「鎌倉市にふさわしい博物館」の機能とめざす姿	5
(1) 総合博物館の構築	5
(2) エコミュージアムの構築	6
4 「鎌倉市にふさわしい博物館」の事業活動の重点	6
(1) 調査研究	6
(2) 情報発信	6
(3) 社寺、市民と一体となった運営	6
第3章 「鎌倉市にふさわしい博物館」の具体的なあり方	8
1 「鎌倉市にふさわしい博物館」の組織と機能	8
(1) 組織：鎌倉国宝館・鎌倉歴史文化交流館、その他	8

(2) 機能：収集・保管・調査研究・教育普及、ガイダンス、多目的ホールほか	8
ア 鎌倉歴史文化交流館の登録博物館への登録	8
イ 鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館との連携強化	8
ウ その他の機能	8
2 施設整備	9
(1) 扇ガ谷一丁目用地の活用	9
(2) 既存施設の更新・拡充	9
※扇ガ谷一丁目用地について	10
3 エコミュージアムの考え方の導入	11
(1) エコミュージアムの概要	11
(2) 鎌倉市におけるエコミュージアムの構築	11
ア 中核施設（コア）	12
イ 衛星施設（サテライト）	12
ウ 発見の小径（ディスカバリートレイル）	12
4 管理運営体制	12
(1) 市の役割	12
(2) エコミュージアムの運営	12
※鎌倉のエコミュージアム構築のイメージ	14
第4章 事業活動	15
1 収集機能	15
(1) 優秀な資料群（コレクション）の形成	15
(2) 資料購入の検討	15
2 保管機能	15
(1) 保管施設（収蔵庫）の確保	15
(2) 考古資料の保管	15
3 調査研究機能	15
(1) 学術的・専門的分野における調査研究の推進	15
(2) 博物館施設における技術的調査研究の推進	16
(3) エコミュージアムの実践・運営に係る調査研究の推進	16
(4) 調査研究費の確保	16

4	教育普及機能	16
(1)	鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館それぞれの特色を生かした教育普及活動の展開	16
(2)	両館ならびに近隣施設との連携強化による積極的情報発信及びイベント等	17
(3)	市民等の参画によるエコミュージアムの展開	17
(4)	博学連携による教育活動の活性化	17
5	ガイダンス機能	17
(1)	エコミュージアムの紹介	17
(2)	中核施設（コア）等の活用	18
第5章 今後の事業推進に向けて		19
1	今後の課題	19
(1)	エコミュージアムの構築と運営に係る課題	19
ア	市民・関連団体の積極的参画	19
イ	社寺の理解の促進と積極的協力の確保	19
ウ	市民・関連団体・社寺及び行政による運営組織の設置と役割分担	19
エ	史跡整備	20
(2)	博物館機能の充実	20
ア	積極的な調査研究の展開	20
イ	資料の適切な保存管理	20
2	事業スケジュール	21
用語解説		22
鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会条例		23
鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会条例施行規則		24
鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会委員及び幹事名簿		25
鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討経過		27